

# 石岡明照保育園

古くて新しい まちを開いた木造園舎



## ■ 建築概要

**所在地** 茨城県石岡市府中2丁目5-13  
**構造・階数** 木造平屋建て  
**事業費** 298,000 千円  
**工期** 令和3年3月～令和4年12月  
**施工者** コスモ総合建設(株)

**施設用途** 保育園  
**延床面積** 659㎡  
**木工事費** 72,408 千円  
**設計者** Live Haus 建築設計所・高橋建築構造設計室  
**木材供給者** (株)茨城木材相互市場、(株)野上製材所、二宮木材(株)、(株)銚田製材所

## ■ 施設の概要・特徴

本施設は石岡市旧市街地の文教地区にあるお寺が運営する保育園である。街並みとの接続や死角をつくらないという意味で開かれたたたずまいを、近くにある木造の本堂や客殿という歴史との接続を図るために、伝統的な木造の要素を用いて整備した。肘木（ひじき）や斗（ます）、貫（ぬき）の特徴を受け継ぎつつ、シンプルなかたちに置きかえて用いるなど、園児たちにもわかりやすいデザインを目指した。

## ■ 使用した木材や工夫した点

コロナ禍での木材の調達を考え、梁成 $\leq 240\text{mm}$ 、材長 $\leq 6\text{m}$ の県産スギ製材が主材料の、長大材を可能な限り使わない架構計画とした。本堂にある斗供の要素、斗と肘木を取り出して柱頭に載せ、保育室やデッキのスパンを小さくして長物を減らしつつ、空間に伝統への接続という意味を加えた。他方遊戯室では、粘り強くめり込み抵抗する貫の特質を活かし、柱材程度の小さな材料が大きな空間を支える構造方針とした。伝統的な木組みに期待しつつもビスで補剛し、加工や建て方の精度を求め過ぎないことが、コストパフォーマンスの向上に寄与できるのではないかと考えたからである。

樹種	使用量 (うち 県産材)	使用部	備考
スギ	105.40㎡ (97.35㎡)	柱・梁・タルキ・間柱 腰壁・軒天井	
ヒノキ	11.09㎡ (7.34㎡)	土台・枠材	
その他	60.12㎡ (0.00㎡)	床板・家具、 野地・壁等合板	
計	176.61㎡ (104.68㎡)		

一方居室の腰壁には部分的に県産スギの羽目板を用いた。子供用ロッカーの背面部分は省略するなど、メリハリのある使い方をすれば、必ずしも部屋単位で考えなくても良い。そうなれば、適材適所での材の使い分けが可能になり、デザインの幅が広がるのではないかとと思われる。

